

PRO MUSICA NIPPONIA

日本音楽集団

第140回定期演奏会

～邦楽アンサンブルの醍醐味

企画・構成 稲田 康

1995年11月17日(金) 午後7時開演
津田ホール

主催＝日本音楽集団
制作協力＝MEWS・奈良音楽事務所
助成＝(財)花王芸術文化財団

プログラム

1. 秋のコンチェルト(1984年)

中村 八大 作曲

[笛] 西川 浩平 [尺八] I = 米澤 浩 II = 水川 寿也
[三味線] 野口美恵子 [琵琶] 山田まゆ美
[箏] I = 木村 玲子 II = 桜井 智永 [十七絃] 宮越圭子
[打楽器] 臼杵美智代・立枝 恵子
[指揮] 稲田 康

2. 北の詩～ダンス・コンセルタントⅣ～(1984年) 三木 稔 作曲

[笛] 西原 貴子 [尺八] I = 藤崎 重康 II = 米澤 浩
[胡弓] 畦地 慶司 [三味線] 工藤 哲子 [琵琶] 田原 順子
[箏] I = 木村 玲子・山田 明美 II = 熊沢栄利子・桜井 智永
[十七絃] 宮越 圭子・久東 寿子
[打楽器] 望月太喜之丞・立枝 恵子
[指揮] 稲田 康

————— 休 憩 —————

3. 日本楽器のための“シナウイ”SINAWI (委嘱・初演) 白 秉東 作曲

[笛] 西川 浩平・藤崎 重康 [笙] 西原 祐二・西原 貴子
[尺八] I = 米澤 浩 II = 添川 浩史
[胡弓] 畦地 慶司 [三味線] 野口美恵子・工藤 哲子
[琵琶] 田原 順子・山田まゆ美
[二十絃箏] 熊沢栄利子 [十七絃] 宮越 圭子
[打楽器] 望月太喜之丞・臼杵美智代
[指揮] 稲田 康

4. 交響的幻想曲 朱輪金鈴(1971年)

長沢 勝俊 作曲

[尺八] I = 藤崎 重康(笛) II = 添川 浩史 III = 水川 寿也
[細棹三味線] 野口美恵子 [太棹三味線] 工藤 哲子 [琵琶] 田原 順子
[箏] I = 木村 玲子・桜井 智永 II = 山田 明美・久東 寿子
[十七絃] 熊沢栄利子・佐藤 里美
[打楽器] 望月太喜之丞・臼杵美智代・立枝 恵子
[指揮] 稲田 康

秋のコンチェルト

私は中村八大氏の作品を指揮するのは初めてです。「上を向いて歩こう」など常に大衆の心をつかんでいかなかった作曲家の作品だけに、心してとりくんで来ました。ご自身が作品を作曲するにあたり「この音の少ない世界の表面に見えない奥の深さが底知れず見えて来て、探れども、探れどもとても手に負えない事がわかった」と、又「日本の秋を書くつもりだったが何時のまにか、中国大陸の秋になってみたりもした……。日本以外にも秋はあります」と語っています。新しい世界にとびこみ、作品を生み出す作曲家の創造力にいつもながら驚きと尊敬の念を禁じえません。近未来を思わせるこの作品をあなたはどうか聴きますか!!

(稲田 康)

北の詩～ダンスコンセルタントⅣ～

世界的なスケールで日本文化の代弁者としての特異な作品を書き続ける三木稔氏が1981年11月、北海道放送30周年、北海道邦楽邦舞協会10周年記念作品として書いた作品で六つの小品(①夜明け、②ユリの踊り、③虫たちの踊り、④精霊の舞、⑤おどけ、⑥大地に舞う)で構成されています。あの「古代舞曲によるパラフレーズ」や「急の曲」に見られる音空間と自然や人をこよなく愛する三木稔氏の一端をかいまる作品です。

(稲田 康)

日本楽器のための“シナウイ”(SINAWI)

作品委嘱を受けた時は又一个の可能性に挑戦できる機会だと思いながらも、一方では、全然なじめなかった楽器と音色をいかに私の心の中に溶けこみいれるかが最大の悩みでした。

たびたび接していた日本文化に対する理解を深めながら、日本人の心に私の心をだぶらせながら、素朴な気分で私のソリ(音、声の意味ですが感情が入っている声のこと)の世界を展開してみました。

“シナウイ”とは、韓国伝統音楽で即興性の強い、独奏又は合奏の多声音楽的な音楽形態です。

(作曲家)

交響的幻想曲 朱輪金鈴

「モーツァルトの作品は子供でも弾ける。しかし大人が演奏するのはむずかしい」と言われます。長沢勝俊氏の作品もだれでもくちずさむ事が出来るし、親しみやすいが、演奏するのはむずかしい。それは一音一音に無駄がなくシンプルで深いからです。今回とりあげた「朱輪金鈴」も非常に深い、最初に登場する粗暴な音を持つ石の楽器「サヌカイト」独特の変拍子から生まれる躍動感と広がり、これがあいまって一瞬古代にタイムスリップさせてくれます。作曲者が古代に夢とロマンを求めた、交響的で幻想的なすてきな逸品です。

(稲田 康)

プロフィール



白 秉東

1936年、満州に生れる。ソウル大学校音楽大学及びドイツハノーヴァーのミュージック・オプシューレで学ぶ。1961年「交響的三章」で新人芸術賞受賞以来、今日に至るまで作曲活動を続けている。「第二弦楽四重奏曲」で大韓民国作曲賞を受賞し、その後、長期間の作曲活動をたたえ「ソウル文化賞」を受けている。日本では、1974年に管弦楽曲「情趣」が京都で演奏されて以来、「ソリ(Sori)」、「ギターアーナ」、打楽器アンサンブルのための「コントラ(Contra)」等、日本で世界初演を行っている。現在はソウル大学の教授をつとめる。一方、ISCM 韓国支部の運営委員、未来楽会の同人として活動している。

- 5月28日(日) 多治見公演 多治見市文化会館
- 6月3日(土) 千葉県立大多喜高校芸術鑑賞会 大原町文化センター
- 6月8日(木) フォレックス95 大阪ロイヤルホテル
- 6月8日(木) 南与公演 愛媛県日吉村文化センター
- 6月9日(金) 南与学校公演 (愛媛県津島中学校・和霊小学校・吉田中学校)
- 6月17日(土) 東京子ども音楽フェスティバル <青梅子ども劇場> 青梅市民会館
- 6月19日(月)~23日(金)、26日(月)~28日(水) 長崎県学校巡回公演
- 6月24日(土) 東京子ども音楽フェスティバル <足立子ども劇場> 西新井文化ホール
- 6月30日(金) 東京子ども音楽フェスティバル <こども劇場せたがや> 砧区民会館
- 7月2日(日) 東京子ども音楽フェスティバル <むさしのなかよし子ども劇場>
武蔵野市民文化会館小ホール
- 7月9日(日) 大久保混声合唱団定期演奏会に出演 新宿文化センター大ホール
- 7月10日(月) 東京子ども音楽フェスティバル <大田子ども劇場> 大田区民プラザ
- 7月13日(木) 都立国際高校音楽鑑賞会 目黒公会堂
- 7月14日(金) 東京子ども音楽フェスティバル <ねりま東子ども劇場>
練馬文化センター小ホール
- 7月15日(土) 大井百人劇場 埼玉県入間郡大井町中央公民館
- 7月19日(水) 立川女子高校音楽鑑賞会 立川市民会館
- 7月19日(水) 東京子ども音楽フェスティバル <小平子ども劇場> 小平市民文化会館
- 8月3日(木) 第139回定期演奏会~戦後50年~人と平和のために~三木稔作品による
津田ホール
- 8月11日(金) 新潟公演 新潟市音楽文化会館
- 8月30日(水)~9月1日(金) 佐久市音楽鑑賞会
- 9月21日(木) 北海道訓子府高校音楽鑑賞会 中央公民館
- 9月22日(金) 北海道緑小学校音楽鑑賞会
- 9月23日(土) 紋別市文化連盟創立40周年記念日本音楽集団演奏会 紋別市民会館大ホール
- 9月28日(木)~10月3日(火) オーケストラ・アジア公演
9/30神戸・10/1落合町・10/2岡山・10/3東京
- 10月9日(月)・11日(水)・16日(月) 成田市内学校公演
- 10月11日(水) 第16回世界エネルギー会議東京大会~文化のタペコンサート
「急の曲」(三木稔作曲)/共演・東京フィルハーモニー交響楽団、指揮小林研一郎
サントリーホール
- 10月15日(日) 渋川チャリティコンサート 渋川市民会館
- 10月15日(日) 八日市場市コンサート 飯高寺
- 10月22日(日) 愛知県東郷町公演 東郷町町民会館ホール
- 10月25日(水) 宮城県立気仙沼西高校音楽鑑賞会
- 10月28日(土) 小橋稔邦楽作品の午後 バリオホール
- 11月2日(木) 金沢公演 (いしかわ秋の芸術祭'95) 金沢市観光会館
- 11月6日(月) 「芸団協の30年を語る宴」に出演 東京会館
- 11月9日(木) 総持寺公演~曹洞宗婦人会創立20周年記念大会
曹洞宗大本山総持寺鶴見女子高校講堂
- 11月13日(月)~18日(木) 山形県中学校巡回学校公演
- 11月17日(金) 第140回定期演奏会~邦楽アンサンブルの醍醐味 津田ホール

- 11月25日(土) 奈良親と子の劇場 (ファンタスマゴリア・秋の曲・四季他) 榎原文化会館
- 12月2日(土) 宝仙小学校音楽鑑賞会
- 1996年
- 1月20日(土) 愛媛県伊予三島市公演 伊予三島市民会館
- 1月24日(水) こども劇場幼児例会作品発表 中野ZERO西館小ホール
- 1月30日(火) 第141回定期演奏会～秋岸寛久作品特集 バリオホール
- 2月8日(木) 関市文化会館音楽鑑賞会 関市文化会館
- 2月11日(日) 日本音楽集団演奏会 (冬の一日・秋の曲・四季他) 名古屋市 中村文化小劇場
- 2月18日(日) 岩倉市公演
- 3月9日(土) 郷土人形たちのつぶやき(ペロ出しチョンマ他) かつしかシンフォニーヒルズ
- 3月22日(金) 小平こども劇場
- 5月8日(水) 小倉北子ども劇場
- 5月10日(金) 四日市子ども劇場
- 5月11日(土) 名古屋市おやこ劇場
- 5月18日(土) あしがら子ども劇場
- 5月23日(木) 第142回定期演奏会 津田ホール

1996年度研修生および団員募集

日本音楽集団では1996年度、下記種目の研修生および団員を募集します。

【演奏部門】 笛類、笙※、ヒチリキ※、尺八、胡弓、琵琶、三味線類、箏類、
打楽器、指揮※

【理論部門】 作曲※、文芸・評論※ ※印は団員のみ

★研修生について—プロを目指して勉強をしたい方。

★団員について—古典から現代の日本音楽の演奏をソロからアンサンブルまで、即プロの演奏家として活動できる東京(近郊を含む)在住の方。

【オーディション日】 研修生→1996年3月20日(水・祝)

団員→1996年3月21日(木)

詳細は日本音楽集団事務局までお問合わせください。

箏

二十絃箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、楽器の本質を追求した箏

日本音楽集団推薦

琴光堂和楽器店

東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL(3792)8481 FAX(3792)8437



アイ・エム・エス ● 楽器リース ● 保管 ● 移動 ● ステージ・スタッフ派遣

〒167 東京都杉並区上荻 2-3-4

ゆうてんビル

PHONE. 03-3397-2292

FAX. 03-3397-7728